

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年11月30日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年11月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン浄化設備の空気圧縮機(A)の起動不可について】</p> <p>当社運転員が、サブドレン浄化設備の空気圧縮機(A)圧カスイッチの定期点検後の確認運転において、当該圧縮機が起動しないことを確認。</p> <p>なお、サブドレン浄化設備については、空気圧縮機(B)が運転していることから、浄化運転に支障はない。</p> <p>その後、当該圧縮機(A)を再点検し、圧カスイッチにも問題がなかったことから、当該圧縮機を起動したところ、問題なく起動したことを確認。</p> <p>今後、原因を調査予定。</p>	GⅢ	11月27日
2	<p>【G4南タンクエリア・G3東タンクエリア間側溝の水溜まりの油膜確認について】</p> <p>当社社員が、G4南タンクエリア・G3東タンクエリア間の側溝の水溜まりに油膜があることを確認。</p> <p>現場を確認したところ、当該タンクエリアの外堰と内堰の間に設置していた発電機に雨水が浸入し、浸入した雨水がオイルガード(油受け)に付着していた油分と混ざり、流出したものと判断。</p> <p>なお、油の漏えいが継続していないこと、外堰と接続した排水路および、港湾を確認した結果、油膜がないことを確認。</p> <p>油膜については、中和剤および吸着剤にて処理が完了。</p> <p>本件は、消防署より「油漏えい事象」と判断された。</p> <p>対策として、発電機を外堰内に設置する場合は、オイルガード内への雨水の浸入を防止するため、発電機のかさ上げを実施予定。</p>	GⅢ	11月25日